

会 議 録

1 会議名

平成27年度第3回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○地域活動支援事業について（公開）

- ・採択事業及び採択額の決定
- ・2次募集実施の検討

3 開催日時

平成27年6月10日（水）午後6時30分から午後9時20分まで

4 開催場所

春日謙信交流館 第1会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：飯田攻、池杉清子、大竹明德、長田久夫、竹内伊澄、田中実、
中島富士一、南雲和子、橋本桂子、宮腰明浩、宮崎光雄、宮脇信行、
山本紀昭（副会長）、吉田実（会長）、鷺澤和省、渡部正由
- ・事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、恩田係長、小林主事

8 発言の内容

【恩田係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・本日は正副会長との事前打ち合わせを経て、春-9の提案者との意見交換を行うこととした旨を説明

【吉田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：橋本委員に依頼
- ・春-9の提案者との意見交換を開始する。

【提案者】

- ・挨拶

【吉田会長】

質疑を求める。

(発言者なし)

【吉田会長】

文書照会でも質問しているが、レンタカーで対応できないか。

【提案者】

購入することが理想と考えていたため、購入経費を計上する形で提案した。「お手伝い士隊」で全ての維持費を賄うことはできないため、購入した軽トラックを町内会に貸し出すことで、維持費等を町内会から援助していただく計画とした。使用頻度も高くなるため、1年間の3分の1程度は使用することになり、レンタカーで対応することは効率的ではない。我々の町内会は新興住宅地であり、畑を持つ人が少ないため、軽トラックを所有する人は僅かである。1年間リースすることも考えたが、5年程度で新車購入費とほぼ同額になるため、当初から購入することで企画した。

【吉田会長】

質疑を求める。

【橋本委員】

シニア世代がシニア世代を支えるということは、大変な面、皆さんのやる気を発掘するという意味でとても意義のある活動だと思う。試算に基づいて計画を立て、必要と考えて提案されているが、提案前に皆さんで話はされているか。

【提案者】

提案書にも記載しているが、昨年からは始めている。これまではシルバー人材センターから作業に来ていただき、年間40～50万円くらい使っている。その中で町内から

自分たちでやろうという機運が生まれ、去年は募って側溝掃除を行った。側溝掃除を環境衛生公社に頼むと、汚泥の処分経費までかかるため、48万円の見積書が出てきた。それを皆で数日間かけて7万円でやった。それらから地域の声が高まり、公園の除草もやろうという案が出てきた。私は町内会長という立場で町内のあるグループに除草作業の年間契約をした。そのような経緯があり、今突然に提案した取り組みではない。

また、春日野町内会で使用する除雪機は1台しかないが、春日野町内の範囲は非常に広いため、1か所のゴミ捨て場、或いは高齢者宅の前に多量の雪が残されていても、そこに行く迄に日が暮れてしまう。除雪機を運搬するためにも、軽トラックが欲しいという話になり、今期に入ってから私が企画立案を進めてきた。頭の中だけ構想しているのではなく、既に動き出している。

【橋本委員】

私の町内では、業者にも頼まず皆で側溝清掃を行うが、ゴミ収集所に汚泥袋に置いておけば業者が取りに来てくれる。

【提案者】

春日野町内ではJRの線路沿いの側溝やこどもの家、町内会館や公園の周りなどの共用スペースが多くあり、それら箇所側溝清掃を進んでやってくれる人は殆どいない。

【橋本委員】

班で割り当てはしていないのか。

【提案者】

自分の所だけで精一杯であり、そういう割り当てはしていない。今仰ったように、汚泥は市が持って行ってくれるので、処分費用が浮く。環境衛生公社にお願いすれば、汚泥の最終的な処分まで請求されることになるため、費用が急激に上昇する。

【吉田会長】

補足すると、環境衛生公社ではバキュームカーで汚泥を吸うため、いちいち袋詰めは行わない。吸引した汚泥は処分場まで持って行く。私たちは汚泥を袋詰めにし、水を切って収集所に持って行くが、そういう作業は環境衛生公社では行わない。

【提案者】

個人宅周辺の側溝清掃は各自が行うが、業者に委託する共用箇所の側溝清掃を皆で

行おうという提案である。

【橋本委員】

軽トラックを購入することは、そのことにどうつながるのか。

【提案者】

汚泥を運ぶためである。1か所に集めたものを運ぶのに軽トラックがあればよいなと思う。

【橋本委員】

自分の町内を想定して話すが、汚泥を置く場所はゴミ収集所だが、そこまでで持つて行くのが大変ということか。

【提案者】

そのとおりである。量が大変多い。

【橋本委員】

一輪車などで運ぶことは困難だということか。

【提案者】

公園や町内会館、線路脇などの自分の家ではない側溝の掃除を、各戸で分担して行う文化がないので、環境衛生公社のバキュームでお願いしていた。

【橋本委員】

私の班ではそういった部分に関しては市に託している。班の中でも自分たちでやる所とやれない所がある。

【提案者】

やれないところは市でやってもらうしかない。その区別がなかなか難しい。

【橋本委員】

やり始めた所は、やれないことはないのか。

【提案者】

我々がやれるからやったわけで、市にお願いしても市はやらない。

【橋本委員】

その辺は回答いただいたのか。

【提案者】

もちろん。

【大竹委員】

軽トラックを使わない時は町内会に貸し出すと言っていたが、除雪機などのように軽トラックも提案団体ではなく、町内会の備品として町内会から借りることはできないのか。

【提案者】

町内会で軽トラックを買うことを申請したら、頭から反対される。我々の一番の目的はシニアの活性化モデルを作ることである。今、話のあった除雪機等の場合は各家の車庫を借りて置いてもらっている。町内会で軽トラックを買って、この施策をやることが私にとっては一番楽である。今回は町内会で買うのではなく、シニアの皆さんを引っ張り出して余力を作ろうという計画です。

【大竹委員】

分かった。

【長田委員】

シニアの活性化、地域で支える地域活動ということで、お題目は非常によいと思う。既に昨年からスタートしているということで、立派なことができて、どうしても軽トラックが欲しいという話になれば、支援した方がよいと思う。ただ、利用頻度やトラックをただ自分の所で持ってランニングコストを高めるだけでは必要ないと思う。発想としては非常によいが、構成員やレンタルのことも提案書に計算してあるが、そこまでしなくても町内に軽トラック持っている人は少ないけど、私が知る限りでは5台くらいはある。町内の行事はある程度日程は決まっているので、お互いに連絡しながら借りればよいので、買わなくてもよいと思う。

【提案者】

そこは考え方の違いで、そう仰る方もいる。例えば春日山道中の草刈は、我々の町内は数が多いので十何人も要請される。草刈機を乗用車に突っ込んで行くのだが、その度に軽トラックのある人に草刈に行ってくれというと、いつもオッケーするわけではなくて、新興住宅地はあまり今迄そのようなことをやらないような人ばかりなので、その度に軽トラックを誰かにお願いするのが大変なので、そこを解消するために、シニアのグルー

プを作っていてすぐに起動できるような体制を作りたい。

【長田委員】

春日山の話をしていましたが、春日山城跡保存会などで草刈機を持っている。年間で5回ですが、春日野町内会だけで応援してやるかといえば、史跡保存会である程度草刈すると思う。

【提案者】

5回要請されて、1回に13人だ。

【長田委員】

派遣人員だということは分かっている。行く時は皆さんで車で行き、後ろの所に草刈機を積んでいくのだが、例えばそれを軽トラックにまとめて積みたいということを考えておられると思う。

【提案者】

今、草刈機は5台ある。自分で動かす公園用の草刈機が1台。そういうことも、機動力があれば結構早いですが、第1公園から第2公園までやっていると、結構時間が掛かるので軽トラックが必要になる。

【宮崎委員】

春日野町内では下水道工事は終わっていないのか。

【提案者】

下水道工事は一応終わっている。ところが、これは強制できないので、今何パーセントまで終わっているかというのはいえない。

【宮崎委員】

私の町内では全部終わっているから汚泥が出ないため、側溝掃除はほとんどしたことがない。軽トラックの維持費や保管場所は決まっているのか。

【提案者】

先程話したように、除雪機と同じように空いている車庫を借りて、年間1万円などで置かせてもらっている。

【宮崎委員】

空いている車庫といったって、警察の許可をもらわないといけないがどうするのか。

【提案者】

最初はどここの車庫証明を出すかということだが、例えば最初だったら私の車庫でもよい。

【宮崎委員】

ご自身の車もあるだろうが、空いているのか。

【提案者】

4台分くらいある。

【宮崎委員】

分かった。

【飯田委員】

町内会で車を購入できない理由はなにか。

【提案者】

やはり、高額だからというのがある。

【飯田委員】

町内会の皆さんは必要だと思っているのか。

【提案者】

必要性はある。皆さんはどこまで思っているかは分からないが、昨年9月6日の理事会から始まって、こういう話は議論している。採択されるかどうかとは別の問題なので、総会のほうではまだ話はしていない。

【鷺澤委員】

疑問点回答シートで軽トラックを使う仕事の内容が具体的に書いてある。だが、違反ゴミの云々までは全て行政が関わってくる問題だ。この公園管理者は町内会なのか。

【提案者】

これはパートナーシップというのがあり、市から委託されている。シルバー人材センターにお願いする金額の何割かは市から支出される。

【鷺澤委員】

市の所有地であれば市の公園担当課があるから、私どもの町内も市の所有する公園があるが、市にお願いして草取り等はきちんとやってもらう。線路沿いはときめき鉄道

に要求すればやってくれるし、汚泥処理も私は木田町内だが、高速道路の下に側溝があり木もすごいので、東日本道路公団に連絡したら木の伐採はすぐやってくれた。側溝の汚泥も誰もやらなかったら溜まっていたが、町内会長が処理してくれと市に出向いてお願いしてきた。そういうことから見ると、行政の分野が非常に多いので、筋としては行政にこういう実態なので対応して欲しい、違反ゴミに関しても対応して欲しいと要望すればよいと思う。

それと構成員だが、平均年齢が68歳で私と同じである。こういう人たちが本当にこれから頑張っていこうということならばよいと思う。それならばもう少したくさん的人数を組織して、私ぐらいの年齢になると非常に体調等も影響してくるので、人数を増やして実績を残してシニアの活性化をしてもらいたい。また、基本的にまちづくりの基本はボランティアという形で皆で協力してやっていくものだと思う。私ども木田町内でも多くの問題があるが、行政が担当すべきものは行政に要求すべきだ。それでどうしようもない時は、例えば草刈の件だったら、春日山城跡保存整備促進協議会に要請すれば対応してくれると思う。本当に必要ならば、2、3年経験を積んで、しかも構成員が最初は7人だったのが、10人になり20人になった30人で今やっていると、そういう実績を残してから提案してもらえたら、皆さんのご理解を得られると思う。

【提案者】

公園はパートナーシップというのがあり、実際の費用の何パーセントくらいなのだが、市からはもらえるが、草の刈る頻度はその町内によって違うと思うが、私どもの町内ではグラウンドや公園で子どもたちが遊ぶので、毎月やっている。或いは、除雪や線路側は市の所有地なのだが、いくら頼んでも刈ってくれない。草が長くなると缶を投げ捨てるとかするので、防止するために自発的にやっている。行政というが、木田町内の会長さんは非常に力のある方なので、一声かければ何でもやってくれるかもしれないが、私どもの町内はほとんどやってもらえない。ゴミ集積所は車が渋滞するので、2車線分除雪を依頼しても、なかなかやってもらえない。そこで怪我が起きる前に自主的にやろうという発想である。行政が何でもすぐやってくれるというのは、私の感覚とは違う。

【鷺澤委員】

行政に言ったら何とかやってもらおうとかでなく、手順として先ず行政が管轄しているものは公助が大切で、次に共助として町内としてどうしようかということでやっていく段階だということを言っている。行政に言ったらやってくれるとは誰もそんな発想は持っていない。ましてや、行政改革が進んで厳しい財政状況の下ではそういったこともできない。木田でも全く同じ問題が同じように出ているが、自発的にボランティア等をやっている。公園の問題で桜の木が大きくなった時に、地域の人で桜の木をカットしてくれる人を頼んで、町内としてお茶代くらい出しましょうということで可能な限り町内でできるものは町内で、協力できるものは協力してやっていくのが実態だ。私個人の考えだが、もし請求するなら2、3年実績を積んでからにしてもらいたい。

【吉田会長】

予定の時間もきたので確認したい。あくまでレンタルでは実施されないのか。これだけの金額を採択するのは順位の関係から難しいが、減額して採択されても補助をいただいて事業を実施したいお考えがあるのかどうかを伺いたい。

【提案者】

レンタルだったら1年だとか、中古という話もあるが、申請する時に中古の見積りは難しかった。すぐ採択されるならメーカーに話できるが、そういうことで申請は新車で申請したということだ。

【吉田会長】

例えばケースとしては減額されて、1回のリース料×20回分、30回分までしか出せませんよ、という場合は了解してもらえるか。

【提案者】

その場合は、そのように対応することになると思う。

【吉田会長】

今迄のルールでは不採択になると0円になるが、採択して減額された中でリースで活動してくださるというケースも考えられないわけではないのでお聞きしている。

【提案者】

減額の規模によって、成り立つかどうか不明であるが、対応は可能と考える。

【吉田会長】

レンタル業者でなく町内で割安で借りるといのはどうか。

【提案者】

それは今もやっている。

【吉田会長】

そうすれば、大分回数も増えると思う。そうやって実績を積んで、町内で認められて買ってもらってもよいし、活動支援事業で買うことも可能ではある。その場合は他の町内が使う時にも貸与したり、春日区で上手く使い回すことになれば採択の可能性はある。我々は、この取組自体は頑張っていて続けてもらいたい気持ちはある。何とかしたいという気持ちでお聞きした。

【提案者】

私は町内会長の任期が今期で終わるため、そういう意味で今年仕上げたいという気持ちが正直ある。

先程、私のこの提案の中身はほとんど行政だという話があったが、今回他に提案されている事業内容は知らないが、昨年迄の提案を見ると行政がやるべきことと仕分けができていないのかという疑問が1つある。昨年の報告会の時にLEDの話があったが、ある町内がLED化を全部してもらったという話があり、私も言おうと皆さんと相談していたらどこかの町内会長が言ってくれたが、それで皆さんが動いてくださった成果かどうかはわからないが、市が3月に補助制度を出したが、未熟だったから5月に修正した。個人的には色々な問題があり、地域協議会の人はそのことに関してどう考えているのかということも、非常に疑問だ。頑張ってくれて市が重い腰を動かしてくれたのか、その辺非常に興味がある。今、答えを聞こうとは思わないが。

周りの町内会長と話をすると、事業の継続性が大事だという話が多いが、いつも顔を出しているのが優勢みたいな、それは少し違うのではないかという話も出ている。大変だとは思いますが、よろしく願いしたい。

【吉田会長】

ありがとうございました。今いただいた意見も、自主審議の中で町内会長さんや市会議員さんと懇談の場を設けてお互いの理解を深めたいと思う。私も今期最後なので、この審議が終わったら一度は町内会長さんたちと懇談したいと思っている。

【提案者】

私の提案以外は素晴らしい案だと思うので、期待している。

— 春-9 提案者退席 —

【吉田会長】

議題 「地域活動支援事業について」の「採択事業及び採択額の決定」

資料No.1-1、No.1-2について説明を事務局に求める。

【恩田係長】

資料No.1-1、No.1-2により説明。

【吉田会長】

今の説明について質疑を求める。

春-9を採択とするのかどうかについて、意見を求める。

【橋本委員】

減額採択となった時にどういう対応をするのか、それでもできることをやるという気力、そしてそれを応援したいと思う会長の心いきというのがあるのかどうか。

また、事務局からもあったように、背中を押すなり、やる気力を削がないようにするためには、全額は難しくても継続の背中を押すということは協議会としては大切かと思う。先程、レンタルでもということに頷かれていたので、説得していただければと思う。

【吉田会長】

春-9の提案者も自分たちにとって最良案を提案したということだ。色んなケースを考えていただければ、また違ったかもしれない。

【長田委員】

例えば減額採択されたとすると、この内容が全然変わってくる。車が欲しいと言っているのに、タイヤ1本や2本という話になるとできないことになる。

【吉田会長】

手段としては、どこかから借りて使う形になる。そうすると、頻度が元々予定していた頻度よりは少なくなるかもしれない。そこはあとは町内会長さんだから町内から少し補助をもらうなり、何かやり繰りされるかもしれない。

【橋本委員】

大事なものはシニアの活性化と地域の活性化が本筋であると仰っていたので、タイヤが1本か2本かというお話よりも車がない状態でどうやってやるかということだ。レンタルでやるなり、町内の人に1日2千円で貸してもらいやり繰りしていく中で、次の時に本当に車を買うのがよいのかどうかという判断にもつながるかもしれない。

【吉田会長】

少ないなら少ないなりに上手く使ってもらうしかない。

【宮腰委員】

提案が軽トラックを購入し、支援作業の効率を図るということで、支援事業の提案内容が変わると思う。

【吉田会長】

事務局に補足説明をお願いします。

【恩田係長】

春-9を減額して採択する場合、様々なパターンが想定できる。例えば採択額を仮に80万円とし、80万円で購入できる軽トラックを買ってくださいと要請する形、中古車であれば60万円程度でも比較的良質な車両が購入可能と考えられる。あるいは、レンタカー費用として20万円を採択額とする形なども考えられる。

【吉田会長】

レンタルでもよいということか。

【恩田係長】

そうである。ただし、提案内容を大幅に変更することになるため、本日は採択額を決定いただくことに留まり、正式な採択決定は保留することになる。提案者は再度提案内容を調整し、改めて協議会で採否の最終決定を行うことになる。

【田中委員】

今話を聞いていて思ったのは、春-9を減額して予算を付けるような話になっているような気がするが、それだと何のために採点したのか分からない。

【吉田会長】

採点結果は金額に反映されてくる。

【田中委員】

点数自体が低いのだから、減額しても補助金を出すのはおかしいと思う。

【吉田会長】

それは田中委員の意見で、他の委員さんは違うかもしれない。

【鷺澤委員】

確認だが、減額しても採択するということなのか。議論してほしいと思う。他の地区でもあるが、最終的には0査定でもよいと思う。流れとして、減額して採択するかどうかというのは、地域協議会の在り方として最初に採択するかを協議してから、減額するかどうかは議論の過程で決めて行くほうがよいと思う。1,000万円の活動支援事業の採択は、この1回で終わらせなければいけないということはないと思う。残額が出たら、2次募集すればよいと思う。

去年は、予算が余ったから面倒くさいから配分したが、飯田委員の意見で、無理に採択しなくても不採択にして2次募集するとか、市に返金すること可能だという意見は正論だと思う。協議をするが予算付けをするかどうかは協議会全体で話合っ決めていく意見に賛成である。

【吉田会長】

事務局に確認だが、補助額を検討する際に春-9の補助額は0円とすることも可能か。

【恩田係長】

事業の趣旨は理解し賛同するが、限られた予算の中で配分できないため、結果として実質的には不採択になるというパターンもあり得る。

【竹内委員】

シニアの活性化ということで、このような事業は初めて提案されたのではないかと思う。不採択にしたならば、せっかく一生懸命にやろうとしているのに、やる気を削ぐような気がする。何かよい方法はないかと思う。

【吉田会長】

採択事業として、配分可能な範囲で補助できたらと思っている。

【竹内委員】

前年度から活動をしているようだし、全くないところからではないのだが、いきなりトラックを購入するところが皆さん引っ掛かっていると思うが、事業自体はすごくよ

いと思う。その辺りを何かでフォローしてあげたい。

【吉田会長】

私たちが、真似できないようなことだ。

【宮崎委員】

私の所は老人会でシニアの活動をしているのだが、老人会とどういう関係になっているのか。老人会と連絡を取りあって、タイアップすればよいと思う。

【吉田会長】

まだ動き出したばかりであることを踏まえて考えた方がよいと思う。そして、実績ができてくれば老人会に手伝いを要請したりするようになるのではないかと。やり始めたことに対して、我々は冷水をかぶせるようなことはしたくないというのが私の思いだ。

春-9を採択するかどうか、多数決を取りたい。賛成の委員は挙手を求める。

— 10人挙手 —

それでは採択事業とする。春-9より上位の事業も自動的に採択事業となる。

次に上位の事業から補助額を決めて行く。

春-2について意見を求めたが、ないので春-2は満額でよいか。

(「はい」の声)

春-7については満額でよいか。

(「はい」の声)

春-14については満額でよいか。

(「はい」の声)

春-10については満額でよいか。

(「はい」の声)

春-16については満額でよいか。

(「はい」の声)

春-3については満額でよいか。

(「はい」の声)

【田中委員】

一人採点で反対につけている人がいるのだから、減額の方がよいのではないかと。

【吉田会長】

改めて春-3について多数決を取る。満額でよいという人は挙手を願う。

(過半数の挙手)

それでは満額とします。なお、最終的に1,000万円をオーバーした場合は削らないとならないことを了承願う。

春-15については満額でよいか。

(「はい」の声)

春-1については満額でよいか。

【池杉委員】

条件付きということにしたい。

【吉田会長】

条件付きという意見があった。満額でよいという方は挙手願う。

(8人挙手)

条件付きというのは、どういうものを付けたいのか。

【池杉委員】

綱引きの練習をしているのは高志だけでなく、他の町内でもやっていると思うので、春日区の他の町内と共用するようなシステムがあるとよいと思う。

【吉田会長】

どのような条件とできるか。事務局に助言を求める。

【恩田係長】

補助金で購入するロープについて、他団体からの貸し出しの要請があれば対応するようにといった意見を採択通知に付記することは可能と考える。

【池杉委員】

そのようにしていただけたら、なおよいと思う。

【吉田会長】

意見を付したいと思う。

春-12については満額でよいか。

【池杉委員】

反対だ、無駄使いはよくない。帽子の件は以前も議論になったと思うが、平成26年度の活動報告にも来年度は是非帽子を購入したいと固持されている部分もあって、どうなのかと思った。ベストで充分目立っていると思うほか、拍子木を使っていないパトロールの方もいるし、毎年、拍子木と旗を申請している。報告内容をみると良いことしか書いていないが、100万円ものお金を毎年かけてよいとは思わない。勿論、やっていることは素晴らしいのだが、使い捨てというような備品もあり無駄と思う。

【吉田会長】

大切に扱って欲しいということである。満額とするか減額するかを挙手で決をとる。満額でよいという人は挙手願う。

(数名が挙手)

減額したほうがよいという人は挙手願う。

(過半数が挙手)

春-12は減額とする。

春-6については満額でよいか。

【田中委員】

皆さんが書いた意見の中にもあるが、それほど活動が活発だとは思えない。ただし、減額された場合に自己資金で賄えるような団体ではないので、減額は難しいと思う。

【宮脇委員】

1,000万円の予算の内の4分の1強の予算を充ててよいのかということと、この見積りの仕方が非常に杜撰だ。多くの会社から取って、なるべく安くしたほうがよい。

【飯田委員】

私はこれは認めてもらいたい。子どもたちも一生懸命練習しているし、後継者も育っている。是非とも理解いただきたい。

【吉田会長】

春日地区の誇れる団体と考える。以前はお金持ちが寄付してくれたかもしれないが、現在は困っているから申請してきたわけなので、理解も必要だ。満額でよい方は挙手願う。

(過半数の挙手)

春-4については満額でよいか。

【竹内委員】

継続事業なので、毎年買い替えている。会計のところを見ると、支出の飲食が結構多いので、自分たちで積立している予算がとられていないので、少し気になる。

【吉田会長】

春-4について満額で認めるという方は挙手願う。

(3人挙手)

減額で認めるという人は挙手願う。これについては減額で採択である。

(過半数挙手)

春-5については満額でよいという人は挙手願う。

(過半数挙手)

春-13については満額でよいか。

(「はい」の声)

では満額とする。

春-11については満額でよいか。

【田中委員】

反対の意見のある場合は減額。

【吉田会長】

では満額でよい人は挙手願う。

(過半数挙手)

満額とする。

春-18については満額でよいか。

(「はい」の声)

春-8については満額でよいか。

(「はい」の声)

春-17については満額でよいか。

【宮脇委員】

反対である。ヒアリングの時の我々に対する態度が許しがたい。感情的な面で満額

は認めたくない。

【鷺澤委員】

昨年支援されなかった部分の要求だと思うが、満額には議論のあるところだと思う。本来ならば、違った方向で備品の購入を検討してくれるだろうという観点から満額には賛成できない。

【池杉委員】

町内会の備品となり得るので、備品に関しては減額、町内会と相談されるのがよいと思う。

【吉田会長】

それでは、満額で仮決定がよいと思われる人は挙手願う。

(数名挙手)

減額で仮決定がよい人は挙手願う。

(過半数挙手)

春-9について満額で仮決定する人は挙手願う。

(数名挙手)

0円も含めて減額で仮決定する人は挙手願う。

(過半数挙手)

0円とすることも含め、減額することとなった。現時点の補助総額について事務局から説明願う。

【恩田係長】

減額するという合意がなされた春-12、春-4、春-17、春-5、春-9を除き、満額で採択することとした14事業の補助合計額は777万8千円となる。春日区配分額の1,000万円から777万8千円を引くと残りは222万2千円となる。222万2千円をどのように配分するかを議論いただくことになるを考える。

【宮脇委員】

それは、おかしい。残してもよい。

【恩田係長】

順位付けの結果を尊重し検討いただくことになる。減額採択することとした事業の

採択額を協議いただくことになる。

【吉田会長】

減額して採択する事業の採択額を決めようと思うがよいか。

【宮腰委員】

春-2から春-1迄のところは満額でよいか、決めたらどうか。

【田中委員】

6位から下の事業は反対されている方がいるので、減額しなくてはいけないと思う。

【宮腰委員】

春-1 2は反対者いないのに、減額になっている。

【鷺澤委員】

春-1まで一括で採否を諮ってはどうか。

【吉田会長】

提案いただいたように、春-1までは満額で最終決定してよいと思う人は挙手願う。

(過半数挙手)

春-2から春-1までは満額で決定する。

それでは、減額の程度を決めていきたいと思う。

【恩田係長】

減額した場合にその事業が実施できるのかどうかについて、留意いただきながら協議
いただきたい。

【吉田会長】

春-1 2は減額するとしたら、どの程度にするか。提案をお願いします。

【田中委員】

半額採択でよいと思う。

【池杉委員】

昨年と同じよう内容なので、0円でもよいと思う。

【橋本委員】

帽子は不要という意見があるが、私も不要だと思う。町内会長に伺ったところ、1
丁目は役員、2丁目は有志の人が60人くらい手を挙げてくれている状態なので、こ

れからのやる気に期待できる。3丁目の防犯パトロールが始まった経緯は、過去に泥棒が3件入ったことから始まったが、その後は泥棒は0件であり、実績と受け止めてよいと思う。ただ、帽子分を減額するとなると、約半分になるのでどうか迷うところだ。

【池杉委員】

2丁目なのだが、お昼に2人くらいで回っているそう。ベストは着ているので、遠くからでもパトロールしているのは分かる。だから、帽子がなくてもわかる。

【吉田会長】

私は、帽子代金の話が出なかったので、皆さん実績を認めてこられたのかと受け取っていた。

【鷺澤委員】

それは、予算を削るという話があるから、頑張っている。ジャケットで充分機能しているので、帽子はカットで私はお願いしたい。

【宮崎委員】

拍子木などは、順番に送っていくと次の当番がわかるが、皆が持っている、誰が出ているのか分からなくなるから、組でもてばよいと思う。

【橋本委員】

各班で持っている。

【宮腰委員】

私の町内では交通安全の立哨などは、全て使い回ししているの、毎日しているとしても申し送るか、置き場所を決めて皆が取りに行くなど工夫してもらいたい。帽子分は減額したほうがよいと思う。

【橋本委員】

減額したからといって帽子を買わない選択にはならないかもしれない。

【吉田会長】

自費で購入する分には問題ない。帽子分を減額する場合の採択額について事務局から説明願う。

【恩田係長】

帽子購入費の518,400円を引くと541,080円が事業費の総額となる。

【吉田会長】

春-12は54万円とするが、よいか。

(「はい」の声)

春-6は満額で仮決定したが、減額したほうがよいという方はいるか。

【山本副会長】

大太鼓は300万円すると聞いていたので、今出てきている金額を見ると、減額折衝し努力したのだろうと思う。満額でお願いできたらと思う。

【鷲澤委員】

今後の発展を見据えて、満額がよいと思う。

【吉田会長】

満額でよいと思う方は挙手願う。

(10人挙手)

春-4については減額で仮採択にしたが、いくらくらい減額するか。

【長田委員】

平成24年の時は兜を8つ欲しいと言っていたが、平成24年に2つ、平成25年に1つ、平成26年に2つ購入しているので、あと3つ残っているのだが、今年は1つ欲しいということと、お姫様の衣装が欲しいとのことだ。

【竹内委員】

確かに、姫様の衣装は貧相ではある。

【吉田会長】

今迄一生懸命やっている団体である。減額する際には減額理由を提案者に示さなければいけないので、減額したいのであれば理由を考えるよう注意願う。

【竹内委員】

優先順位がこの会の中のあると思うが、分からないで減額するのもどうかと思う。

【吉田会長】

満額でよいと思う方は挙手願う。

(過半数挙手)

満額採択とする。

春-5は満額でよいか。

(「はい」の声)

満額採択とする。

春-13は満額でよいか。

【田中委員】

これは列車に乗らなくても、普通のカラオケ屋でできる。

【吉田会長】

色んな意見があるとは思いますが、満額でよいと思う方は挙手願う。

(過半数挙手)

満額採択とする。

春-11は満額でよいか。

(「はい」の声)

満額採択とする。

春-18は満額でよいか。

(「はい」の声)

満額採択とする。

春-8は満額でよいか。

(「はい」の声)

満額採択とする。

春-17は満額でよいか。こういうサロンは各町内に普及していつてもらいたいと思う。今回申請のものは膝の悪いお年寄りのためのテーブルを購入するというものだ、各町内にもそういったテーブルはないと思われる。それぞれの町内の予算の事情もあるが、新しい町内ということも考慮して考えたらどうか。

【宮脇委員】

椅子は必要でもテーブルは必要ないと思う。

【吉田会長】

食事会とあるが、テーブルがなくてどうするのか。人が集まれば、茶話会や食事会

になると思うが。

【宮脇委員】

減額するならということ、意見を言った。

【宮崎委員】

こういうものに助成するのであれば、私の町内にも欲しい。こういうものを認めると、全部の町内会館で年寄りのために買うという話が出てくると思う。

【吉田会長】

サロンなどの提案であれば事情は違うと思われる。

【宮崎委員】

宮脇委員のいうように、それを買って何かをやるということもあまりないのじゃないかと思う。テーブルはいらないと思う。大豆町内会では、会員で買っている。

【鷺澤委員】

食事は謙信交流館などを利用すればよいと思う。テーブルはいらないと思う。こういった物を使わなくても基本的には活動は出来ると思うので、個人的には不採択、予算付けしたくない。

【吉田会長】

私は各町内会ごとにサロンが立ち上がって欲しいと思っている。足腰の悪い年寄りが遠くまで移動しなくてすむようにできたらよいと思う。色々な施設でもよいが、元気な人は行けるが、そうでない人のことも配慮することが必要と思う。

【橋本委員】

膝が悪いのは辛いし難儀だ。床に座ると足を投げ出して座るので、みっともないから外にも出たくないというふうにもなる。足が悪い人ばかりではないかもしれないので、もっと椅子が欲しいとなった時は自己負担や町内会からも協力してもらえばよいと思う。ただし、テーブルとイスはセットであることが必要だ。

【吉田会長】

減額はいくらくらいにするか意見を求める。

【池杉委員】

30万円。

【宮崎委員】

椅子が高い。折りたたみでは駄目なのか。

【吉田会長】

それでは金額を下げていき決を取る。

満額という方挙手願う。

(数名挙手)

40万円という方は挙手願う。

(数名挙手)

30万円という方は挙手願う。

(過半数挙手)

それでは30万円を採択額とする。事務局に採択額の集計を願う。

【恩田係長】

先ほどお伝えしました777万8千円に春-12の54万円、春-4の67万4千円、春-17の30万円を足すと、合計929万2千円となる。1,000万円から引くと、70万8千円になる。

【吉田会長】

春-9の採択額について意見を求める。

【田中委員】

内容はよいことをやっているが、中門前では全てボランティアでやっている。春日区で初めてのケースだが、7人の委員が賛同していないので、今回は見送りでよいと思う。

【橋本委員】

協議会として提案の意思を汲んでいることをアピールすることが、地域の団体と協議会との信頼関係にとって大事だと思う。今回は減額採択がよいと思う。70万円の残額全てを使わなくてもよいだろうが、中古車を買える程度の金額を提示し、提案者に判断を委ねたいと思う。

【田中委員】

採点票で7人が賛成していないのに何のために採点してきたのか。

【吉田会長】

田中委員は0円としたいということは分かった。

提案者から本日来ていただいたのは、レンタルでも対応できるのかどうかという話を聞いたかった。

【長田委員】

去年からやっていると言っていたが、今年から始めたので組織的にも少し不安だ。仮に車を購入したとすると、車庫の問題なども出て来るのであれば、来年にでもしっかりした組織ができれば、やってほしいと思う。

【宮腰委員】

町内会長が温めてきた案が、今ここに出ている。気持ちと実際にやれるかどうかという話は別だ。私も少し疑問がある。ただ減額採択だとしても予算付けをするのであれば、やらざるを得なくなると思う。春日野町内にこういう機運が出てきたことを評価したい。大学前の町内とは内容が異なるが、それぞれの町内で機運が高まり、立ち上がろうとしていることに、私は助成したい。減額でも予算付けして欲しい。

【吉田会長】

手段として、購入とレンタルがある。長田委員が言われたように買うこと自体が不安ということと、保険にも入らなければいけないが誰が使うか分からないとなると保険も高くなる。車が盗まれたとか、私的流用の可能性など、備品を購入することに心配な気持ちもある。皆さんに判断してもらいたい。

車の購入で支援するという方挙手願う。

(挙手するもの少数)

レンタルでなら補助することに賛成の方は挙手願う。

(過半数挙手)

それではレンタルで金額を審議したいと思うが、疑問点回答シートでは41万6千円で試算されている。

【宮脇委員】

個人から借りれば5,000円も出さなくても、安くすむと思う。無理にレンタル会社から借りる必要はないと思う。例えば30万円ならその範囲で賄ってくれということにしたらどうか。

【吉田会長】

町内でたまたま車が空いてれば借りられるが、空いていないことも考慮して補助すべきと思う。

【田中委員】

採点したのが反映されていないが、採点した意味はあるのか。

【宮崎委員】

予算を順位順で割って決めればよいのではないか。

【吉田会長】

実際は点数だけで判断できない面もある。

【田中委員】

点数だけで言えないのならば、最初から点数つけなければよい。

【吉田会長】

終わったら、採点の仕方について提案するように求める。

今は残額をどうするのかを議論している。レンタカー代金としてどうするのかの金額を決めてもらいたい。

【鷺澤委員】

これからの時代、共助の社会というのが私たちに求められていると思う。この提案も基本的には理解できるが、実績に関して疑問な点もある。そういった意味で新車でも中古でも車を購入するのはおかしいと思う。町内で5台くらいある車をレンタルしてやっっていけば、3万6千円あればよいと思う。

【吉田会長】

2,000円で100回とすれば、20万円は必要になる。

【宮脇委員】

65日と書いてあるので、町内の人から3,000円で借りるとして、なから20万円かどうか。

【長田委員】

レンタルの料金の話をしているが、ではもう一度提案書を出しなおしてもらうのか。購入するという内容で出してあるのだから、キャンセルしてレンタルにするので出し直

しが必要になるのではないか。

【宮腰委員】

私が確認したのは、提案はトラック購入になっているが、レンタルでもよいということであったから、せつかくそういう気持ちなら地域協議会としても応えたいと考える。

【吉田会長】

事業の主体としてはボランティアだが、車を使うのでそれを購入なのかレンタルなのかということだ。事業の内容は変わらない。それでは、決を採る。

採択額が0円という方は挙手を願う。

(10人挙手)

それでは0円とする。実質的に不採択とされたため、不採択とした理由を発言願う。

【竹内委員】

事業自体は良いことだが、トラック購入が全面に出ていた。

【吉田会長】

運搬手段を再検討して、実績を積んでまた来年提案願う。

これで全事業の採否と採択額が決定されるがよいか。

(「はい」の声)

70万8千円の残額について2次募集するかどうかについて決を採る。2次募集をするという方は挙手願う。

(7人が挙手、2次募集しないとした委員は9人)

本当に2次募集を行わなくてよいのか。どのように考えて判断したのか聞きたい。

【宮脇委員】

70万8千円しかない金額で2次募集なんてできないと思う。

【大竹委員】

地域協議会は自主審議をもっと進めなくてはいけない。

【宮腰委員】

貴重な我々春日区で使えるお金なのだから、有効に使おうと考えるべきと思う。

【鷺澤委員】

他の地区を見ても2次募集しないで市に返納している区はない。自主審議事項が重

要だという事も分かるが、並行して考えていくのがよいと思う。そうしないと地域の活性化、地域住民の理解を得られないと思う。

【宮脇委員】

挙手をして議決したあとに、むし返して意見を言うのは、会長のやり方としてどうかと思う。議決したあとに、会長の意見にそぐわなかったら、もう1回むしかえして、何のための議決かと思う。議決する前にもっと皆さんの意見を聞いてからやるべきだ。

【吉田会長】

意見交換が不十分な状態で、採決を採ったことをお詫びする。今、手を上げられなかった人に意見を聞きたい。

【宮脇委員】

何で議決したのに意見を聞くのか。民主主義に反する。議決したのに再議決するなんて信じられない。

【吉田会長】

先程の議決のとおり2次募集はしないことに決定する。私の進行の仕方が少し悪かったかもしれない。次回会議の日取りを協議する。

- ・次回会議は7月8日に開催する。
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部自治・地域振興課中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-5111 (内線1449、1547)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。